

# NEWS LETTER

Vol.19

2018. 10

## トリナ・ソーラーの最新情報！

### contents

1. 2017年度CSRレポート発行のお知らせ
2. ブルームバーグより3年連続最高レベルのバンクビリティ評価
3. びわ湖環境ビジネスメッセ2018 ブース出展のお知らせ
4. トリナ・ソーラーの最新ニュース
  - 世界のニュース
5. トリナ・ソーラーからのワンポイントアドバイス
  - 災害時の太陽電池パネルの取り扱いについて
  - 東京都の集合住宅へのEV導入補助金 太陽光発電システムが実質無料に



先端技術で提供する  
新しいエネルギー

## 1. 2017年度CSRレポート発行のお知らせ

トリナ・ソーラーは、2017年度のCSRレポートを2018年8月末に発行しました。このレポートは、当社の経営管理下にあるすべての工場や事業に対しての、当社の企業としての社会的責任に関する考え方、戦略、具体的な取り組みについて、経済、環境、サプライチェーン、人々とコミュニティと言う観点から報告しています。

当社は、国連のSDGs(「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」)の実現に向けて企業努力を続けています。2016年以降、中国での事業運営において、炭素排出量「ゼロ」を達成しています。2016年と2017年には、当社が中国に所有する太陽光発電所は、約11億kWhのクリーンエネルギーを創出し、およそ90万トンの二酸化炭素削減して、世界に貢献しました。また、2014年から2017年までの4年間で合計1,200万トンの産業排水を回収し、中国の41,500世帯の年間水使用量に匹敵する760万トンの新しい水(リサイクル水)を生産、再利用しました。

トリナ・ソーラーは、グローバルサプライヤーおよびパートナーの社会的責任にも注意を払っています。太陽電池産業の持続可能な開発を共同で推進するため、包装方法の最適化、輸送形態の最適化、製品と原材料の現地調達を推進することにより、サプライチェーンにおける炭素排出量を継続的に削減しています。当社はパートナーと力を合わせて、教育への投資、公共福祉の促進、ボランティア・プログラムの実施などにより、地域社会に長期的な利益をもたらす努力を続けています。

トリナ・ソーラーは2011年からCSRレポートを作成し、発行しています。前回のレポートは2017年8月に発行されました。毎年CSRレポートを作成するにあたり、GRIスタンダード(Global Reporting Initiative Sustainability Reporting Standards)を参照しております。GRIスタンダードとは、サステナビリティ報告書のための世界で最初かつ最も広く採用されている基準です。

2017年、トリナ・ソーラーは、グローバルサプライヤーのサステナビリティ評価機関であるEcovadisの2017年度のCSR認定レベルにおいて、ゴールドの評価を受けました。持続可能な発展を促進するトリナ・ソーラーの取り組みが評価された結果です。

トリナ・ソーラーの会長でありCEOの高紀凡はこう述べています。

「美しい明日は、今日の共同努力から来ていると信じています。企業の社会的責任へのコミットメントはこれまでどおり強力であり、私たちの努力と実践を国連の持続可能な開発目標に向けた協力的なパートナーシップに注いでいきます。今後も、より良く持続可能な未来を築いてまいります。」

このたび、日本語版のご用意もできました。トリナ・ソーラーの2017年度版CSRレポートは、トリナ・ソーラーの公式ウェブサイト <https://www.trinasolar.com/jp/our-company/sustainability-downloads> よりダウンロードいただけます。

## 2. ブルームバーグより3年連続でバンカビリティの高さを認定

トリナ・ソーラーは、ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンス(「BNEF」)の最新の「太陽電池モジュールのバンカビリティレポート」において、最高レベルのバンカビリティの評価を獲得しました。銀行、EPC、コンサルタント、業界の専門家達からなるBNEFの評価メンバーから3年連続で最高レベルのバンカビリティの評価を受けた太陽電池モジュールメーカーはトリナ・ソーラー1社のみです。

BNEFは「バンカビリティ」を、「特定のPVモジュールブランドを採用するプロジェクトに対し、銀行がノンリコースローンを提供する際の信頼度」と定義しています。銀行は、太陽光発電プロジェクトに対するローンを提供するか否かの決定に際し、ほとんどの場合、製品保証を確保できるように、モジュールの品質の信頼性、メーカーの財務状況で判断します。

BNEFは、世界におけるモジュールメーカーのバンカビリティレポートを作成するにあたり、世界中の銀行、EPC、独立系発電事業者(IPP)、テクニカルアドバイザーに聞き込み調査を行っています。調査回答者の専門家は、世界の29GW規模の太陽電池設置に関わる企業の人たちです。BNEFは、別途、品質検査官、テクニカルアドバイザーに、詳細にわたるインタビューを実施し、報告書を完成しています。

評価メンバーによると、銀行がPVメーカーのバンカビリティ(信頼度)の評価をする際は、企業の財務健全性、PVモジュールの設置実績、メーカー保証を重視するということです。

直近のBNEFレポートでは、DNV GLが発行する「PVモジュール信頼性スコアカード」の内容も引用されていますが、トリナ・ソーラーは、2014年以來4回にわたり世界のモジュールメーカー間の「トップパフォーマー」として「PVモジュール信頼性スコアカード」から認定されています。このスコアカードは、現在公開されている太陽電池モジュールの信頼性テスト結果を最も包括的に比較している報告書です。DNV GLによると、試験参加メーカーは、高品質の第三者の裏づけを求めて参加しているということです。

### 3. びわ湖環境ビジネスメッセ2018 ブース出展のお知らせ

トリナ・ソーラーは、2018年10月17日(水)から10月19日(金)にかけて開催される『びわ湖環境ビジネスメッセ2018』に出展します。

「びわ湖環境ビジネスメッセ」は、「環境と経済の両立」を基本理念に持続可能な経済社会を目指す産業見本市です。

当社のブースでは、日本に20万箇所以上存在すると言われる「ため池」を活用した水上メガソーラーの日本を含めた事例や水上設置をより容易にするモジュール+〔プラス〕のソリューション“TrinaPro (トリナプロ)”の紹介を中心に、ソーラーシェアリングや塩害地域、積雪地域に対応する高耐久性の両面ガラスモジュール“DUOMAX”シリーズのモジュールをご紹介します。また、当社が取り組んでいるPVモジュールのリサイクルに関するご紹介もさせていただきます。

自治体の方、農業関係の方、および、環境にやさしいエネルギーでビジネス展開を考えている方は、是非、トリナ・ソーラーのブースにお立ち寄りください。

尚、10月18日(木)11:35~12:00に、会場特設会場にて、技術サポート部 鹿野康行による「水上を利用した太陽光発電所が開く新たな可能性」のプレゼンテーションを行いますので、こちらにも是非お立ち寄りください。

#### ■びわ湖環境ビジネスメッセ 概要

- ・開催日時: 2018年10月17日(水) ~ 10月19日(金) 10:00~17:00(最終日は16:00まで)
- ・会場: 長浜バイオ大学ドーム(滋賀県長浜市田村町1320) ※JR田村期から徒歩5分
- ・出展者数: 273者
- ・入場料: 無料
- ・主催: びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会  
滋賀経済団体連合会、滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀経済同友会、(一社)滋賀経済産業協会、(公社)びわこビジターズビューロー、(一社)滋賀県銀行協会、(公財)滋賀県産業支援プラザ、長浜商工会議所、彦根商工会議所、米原市商工会、(株)滋賀銀行、長浜信用金庫、滋賀大学、滋賀県立大学、立命館大学、龍谷大学、長浜バイオ大学、長浜市、彦根市、米原市、滋賀県



【トリナ・ソーラー ブース番号】 O-15



展示ブースイメージ画像

## 4. トリナ・ソーラー 最新ニュース

### ～世界のニュース～

#### ■ 中国多国籍企業リストにおいてNo.1新エネルギー企業として認定

トリナ・ソーラーは、中国企業連盟(CEC)と中国企業取締役協会が発表した上位100社の中国多国籍企業リストにおいて76位にランクインしました。トリナ・ソーラーの海外資産は132億人民元で、新エネルギー企業の中では最も高いランクとなっています。

トリナ・ソーラーは、世界を牽引する太陽光発電のトータルソリューションを提供する企業として、2017年末までに累計30 GW以上の太陽電池モジュールを世界に出荷しました。海外の40以上の支店・事務所を通して、100以上の国と地域で事業展開をしています。

中国政府が推進する「一帯一路」の地域においては、2017年にベトナムに1GWの太陽電池の生産能力を持つ工場を立ち上げ、東南アジアで最大のPVメーカーとなりました。インドではTrina Solarの累積出荷量が3GWを超えています。

#### ■ トリナ・ソーラー本社に、エネルギーのIoT産業革新センターを設立

トリナ・ソーラーのリーダーシップの下、新エネルギーに焦点を当てたIoT産業革新センターが、7月17日、中国常州市にあるトリナ・ソーラー本社内に設立されました。

このセンターでは、中国内外の有力企業や研究機関と提携し、新エネルギーや蓄電技術などのイノベーションシステムの構築、スマートターミナル、エネルギーマネジメント、エネルギークラウドなどの技術の確立、新エネルギーの研究を行っていきます。

新センターは、代替エネルギー、再生可能エネルギー、および持続可能なエネルギー分野における中国の主要な課題を解決し、川下と川上のプレーヤーの効率的な交流と協力を可能にすることを目的としています。このセンターの設立は、エネルギーのIoT市場のグローバルリーダーを目指す当社の戦略における新たなマイルストーンとなります。

#### ■ 当社副社長が、製造のグローバル展開が持続可能な事業展開につながるかと語る

トリナ・ソーラーの 印 榮方 (Rongfang Yin) 副社長は、9月に開催された夏季ダボス会議[経済フォーラム]にてCNBCの取材に応じ、同社のグローバル化された製造がどのように持続可能な発展とその製造の将来に貢献しているかについて語りました。

<https://www.cnbc.com/video/2018/09/19/chinese-solar-company-says-diversification-has-softened-impact-of-tariffs.html> [英語版のみ]

## 5. トリナ・ソーラーから災害時のワンポイントアドバイス

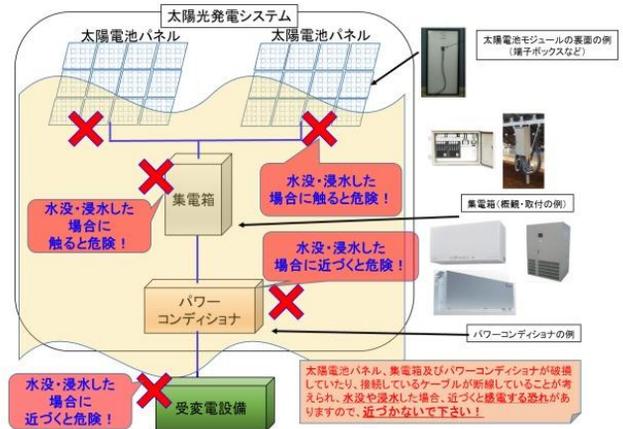
### ■災害時の太陽光発電システム取り扱いについて

台風21号が関西で猛威をふるい、大地震が北海道南西部を襲った9月。この2つの大きな災害により、太陽光発電システムも被害を受けたところがありました。今回は、水害と震災の被害にあった際の太陽光発電システムの取り扱いについて解説します。

### ■水害によって太陽光発電システムが被害を受けた際の対処について

水害によって被害を受けた太陽電池パネルは、接触すると感電する恐れがあるため、触れないようにし、復旧作業で取り扱う場合も、ゴム手袋やゴム長靴などを着用して感電対策をしてください。また、複数枚の太陽電池パネルが接続されたまま流されたり飛ばされた場合は、関係者以外は近づかないよう対策をしてください。

また、浸水したパワーコンディショナは、太陽電池パネルが活線状態の場合は、短絡電流が流れることでショートや発熱する可能性があります。ショートしている状態が見える場合は販売施工業者に連絡をして対応してください。取り扱いにあたっては、感電対策を行うとともに、パワーコンディショナの遮断器を解列することを推奨します。



### ■震災によって太陽光発電システムが被害を受けた際の対処について

#### 1. 「震災で倒壊の危険のある家屋に設置された太陽光発電システム」の取り扱いについて

倒壊の危険のある家屋の所有者の方は、機器や配線の損傷から漏電の危険性がありますので、必ず分電盤の遮断器を切りパワーコンディショナの運転ボタンを停止にした上で避難して下さい。その後、ご購入の販売・施工業者に連絡し、処置を依頼して下さい。

#### 2. 「家屋と共に倒壊した太陽光発電システム」の取り扱いについて

太陽電池パネルが震災で破壊された家屋に残っている場合や、破壊によってがれきとなって堆積している場合は、感電や火災の危険があるため、以下の事項に注意して作業を行って下さい。なお、夜間や日没後に作業を行う場合も、日射のある時と同様に注意事項に従って対処して下さい。

【1】壊れた太陽電池パネル、接続箱、パワーコンディショナに触れる必要がある場合は、必ず絶縁性のある手袋を使用して下さい。また、太陽電池パネルは、ブルーシート等で覆う等、光が当たって発電しない様にして下さい。

【2】複数の太陽電池パネルが配線につながっている場合は、パネル間の配線コネクタを全て抜いて下さい。また、太陽電池パネルと接続箱、パワーコンディショナなどが配線につながっている場合は、全ての太陽電池パネル間の配線コネクタが抜かれていることを確認した後に配線を切断し、配線の切断面から銅線がむき出しにならない様、絶縁テープなどを巻いて絶縁して下さい。尚、配線の切断及び絶縁作業は、必ず電気工事士が行って下さい。

## 6. マンションでもEVが充電できる？太陽光発電システム設置が実質無料？お得な補助金情報

### ■東京都が実施している『集合住宅における充電設備等導入促進事業』とは

『集合住宅における充電設備等導入促進事業』とは、東京都が2018年6月より実施している、都内のマンションやアパート向けの補助金事業です。

環境局と公益財団法人東京都環境公社によると、都内全体の二酸化炭素排出量のうち約2割を運輸部門が占めており、その8割が自動車からの排出です。このため、都は、電気自動車をはじめとしたゼロエミッションビークルの普及が重要だとし、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)の普及促進に向けて、都民の約6割が居住する集合住宅に充電設備を導入するための補助金の給付を開始しました。また、太陽光による電力をEVやPHVの電源として活用するため、充電設備と同時に、太陽光発電システム等を設置する場合にも補助を行っています。この事業は、平成30年度から平成32年度までの3年間実施される予定です。(ただし、申請額が予算額に到達した場合はその時点で申請受付を終了)

### ■『集合住宅における充電設備等導入促進事業』の概要

助成対象機器	補助対象者	補助対象経費	補助額
<b>充電設備</b> (1) 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車に充電するための設備であること。 (2) 国補助(※注)で補助金交付対象として承認された設備であること。 (3) 新品であること。	<b>東京都内の集合住宅の所有者とその許諾を得たリース事業者等</b> (1) 集合住宅の所有者とは、分譲後の場合は管理組合、分譲前の場合は建築主、賃貸の場合はオーナーを指す (2) 集合住宅の個別の入居者も所有者の許諾を得れば申請可能 (3) 国、地方公共団体、独立行政法人等は除く	設備購入費	購入価格から国補助を差し引いた額 (機種に応じた上限あり)
		設置工事費	工事費から国補助を差し引いた額 (上限81万円)
<b>太陽光発電システム及び蓄電池</b> (1) 充電設備と同時に設置すること。 (2) 発電した電気を充電設備又は集合住宅の共用部のみに使用すること。 (3) 電気安全環境研究所(JET)又はそれに準じる機関の認証を受けていること。 (4) 売電しないこと。 (5) 新品であること。	<b>東京都内の集合住宅の所有者とその許諾を得たリース事業者等</b> (1) 集合住宅の所有者とは、分譲後の場合は管理組合、分譲前の場合は建築主、賃貸の場合はオーナーを指す (2) 集合住宅の個別の入居者も所有者の許諾を得れば申請可能 (3) 国、地方公共団体、独立行政法人等は除く	設備購入費 設置工事費	全額 (上限1,000万円)

※国補助: 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金

### ■『集合住宅における充電設備等導入促進事業』の申請について

#### 1. 充電設備設置のための補助金申請について

国補助を併用する場合は、国補助の額確定通知を受領してから、交付申請書を郵送または窓口へ持参してください。なお、申請期限は、工事・支払完了日から1年以内です。国補助を併用しない場合は、工事・契約開始前に、交付申請書を郵送または窓口へ持参してください。

#### 2. 太陽光発電システム及び蓄電池設置のための補助金申請について

工事・契約開始前に、交付申請書を郵送または窓口へ持参してください。

※平成30年度の受付終了日は平成31年3月29日(金)必着となっています。申請額が予算額に到達した時点で申請の受付が終了するためご注意ください。